

エネルギー価格高騰が収益圧迫 72%超え

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「原材料価格の上昇」の148社。2位が「需要の停滞」の123社。「従業員の不足」が76社で3位。
- ★ 「エネルギー価格の上昇による収益への影響」について、「大きく圧迫」66社（24.3%）と「やや圧迫」131社（48.2%）を合わせ7割以上が収益を圧迫。「影響はほとんどない」は5社（1.8%）
- ★ 「収益圧迫への対策」について、最も多かったのが「節電・節約」で138社。続いて「エネルギーコスト上昇分を販売価格に転嫁」が64社。以下、「仕入先・方法の変更」が33社で続く。

令和5年7~9月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

令和5年9月に実施した第134回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が134回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は273社（小売業80社、卸売業30社、製造業39社、建設業60社、運輸・交通業17社、観光・サービス業47社）で回収率は54.6%。

【概況】

今期（7~9月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲2.6と、3ヶ月前の前回調査から改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が1.8%、「やや好転」が22.3%で、逆に「やや悪化」が21.2%、「かなり悪化」が5.5%だった。売上DIも▲9.4から6.8ポイント改善し▲2.6。採算DIも1.4ポイント改善し▲23.8。原材料（商品）仕入価格は67.7と依然として高値で推移。

今回事業所に対し、「電力やガス、重油などエネルギー価格の上昇による収益への影響」について尋ねたところ、収益面での影響を受けた事業所は、「大きく圧迫」24.3%（66社）と「やや圧迫」48.2%（131社）を合わせ72.5%（197社）に上った。「影響はほとんどない」と回答したのはわずか1.8%（5社）。コロナ5類移行後、売上、業況とも回復傾向にあるが、エネルギーコストが上昇しており、売上を増加・維持できていても利益を確保しにくい状況下にある。

そのような中、収益が圧迫されている197社が講じている対策は、「節電・節約」が一番多く138社で7割を占めた。一方、エネルギーコスト上昇分を販売価格に転嫁できているのは、64社と3割程度。

政府による電気・ガス代負担軽減策や三次市によるエネルギー価格高騰対策支援金など時限的な支援はあるものの、エネルギー消費量が増える冬場を迎える今後は、さらなる負担増を迫られ、収益環境が一層厳しくなる事業所が増加する可能性もある。

中小、小規模事業者がエネルギー価格高騰に対応するには、節電・節約だけでは抜本的な解決には至らず、生産性向上などの自助努力と共に、コスト上昇分の適切な価格転嫁といった取引先や消費者の理解も必要となってくる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

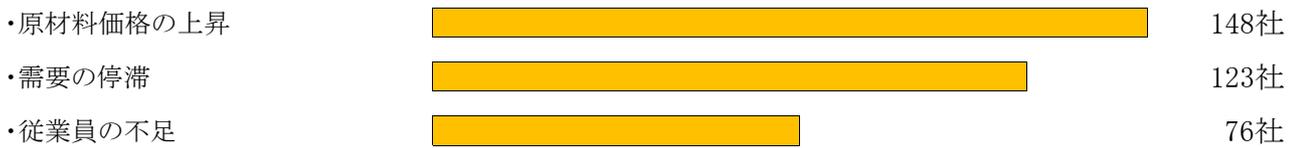
業況は、全業種合計で今期▲2.6。業種別では、製造業、建設業、運輸・交通業、観光・サービス業の4業種で改善。特に、建設業（5.0）、運輸・交通業（17.6）、観光・サービス業（23.4）はプラスの値。

売上は、全業種合計で今期▲2.6。業種別では業況同様、製造業、建設業、運輸・交通業、観光・サービス業の4業種で改善。ここでも運輸・交通業（23.5）と観光・サービス業（12.8）はプラスの値。5類移行後、初めての夏休みやお盆など季節的要因もあり、人流が増加したことで好影響が出たものと思われる。

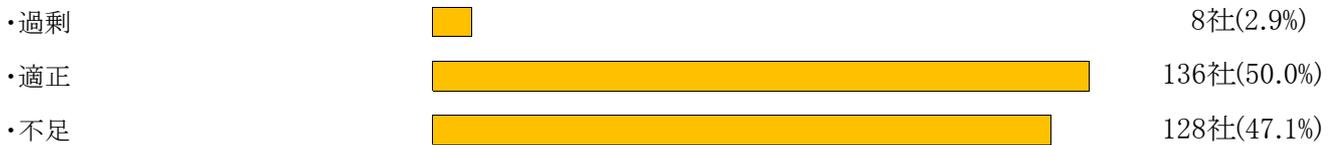
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期67.7。経営上の問題点でも「原材料価格の上昇」が最も多く、エネルギー価格や原油価格の高騰などの影響で、依然として高値で推移している。

採算は、全業種合計で今期▲23.8。改善幅に差はあるものの、小売業、製造業、建設業、運輸・交通業の4業種で改善した。ただし、業況や売上DIに比べ、改善幅は小幅。

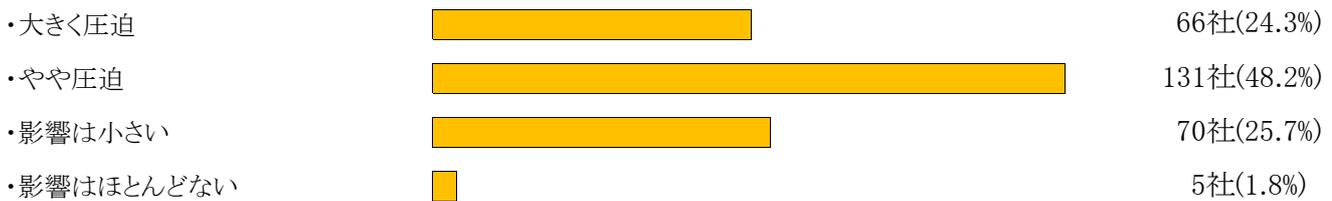
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



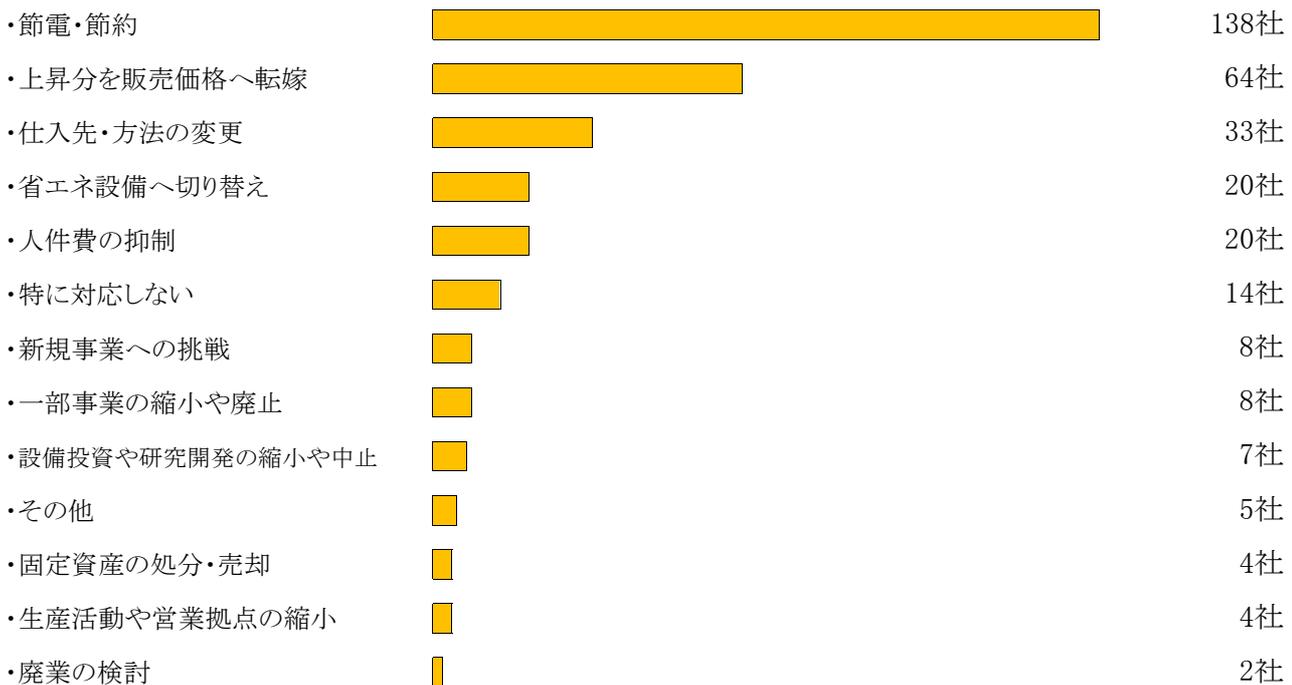
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【電力やガス、重油などエネルギー価格の上昇による収益への影響について】



【「大きく圧迫」「やや圧迫」と回答した方。現在実施している、または今後実施する予定の対策は？】(2つ以内)



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 2.6	▲ 4.4
小売業	▲ 18.8	▲ 22.5
卸売業	▲ 20.0	0.0
製造業	▲ 7.7	0.0
建設業	5.0	▲ 10.0
運輸・交通	17.6	17.6
サービス業	23.4	19.1

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 2.6	▲ 7.4
小売業	▲ 12.8	▲ 29.5
卸売業	▲ 13.3	▲ 3.3
製造業	▲ 2.6	▲ 5.1
建設業	▲ 3.3	▲ 8.3
運輸・交通	23.5	29.4
サービス業	12.8	12.8

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

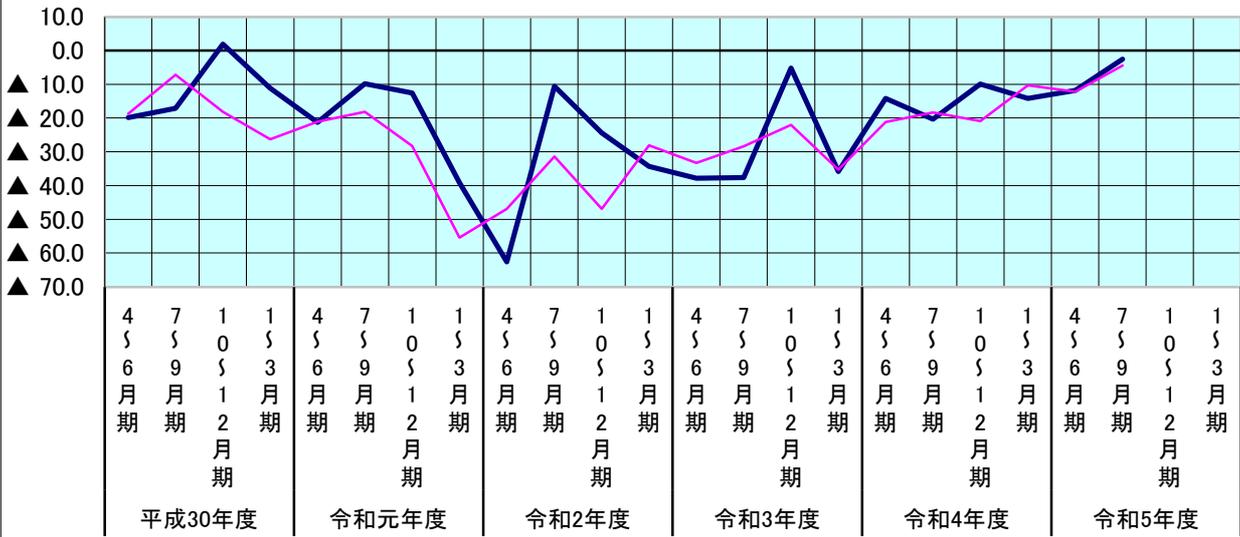
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 23.8	▲ 23.8
小売業	▲ 36.3	▲ 40.0
卸売業	▲ 30.0	▲ 26.7
製造業	▲ 23.1	▲ 10.3
建設業	▲ 13.3	▲ 20.0
運輸・交通	▲ 17.6	▲ 11.8
サービス業	▲ 14.9	▲ 14.9

(好転割合－悪化割合)

全業種

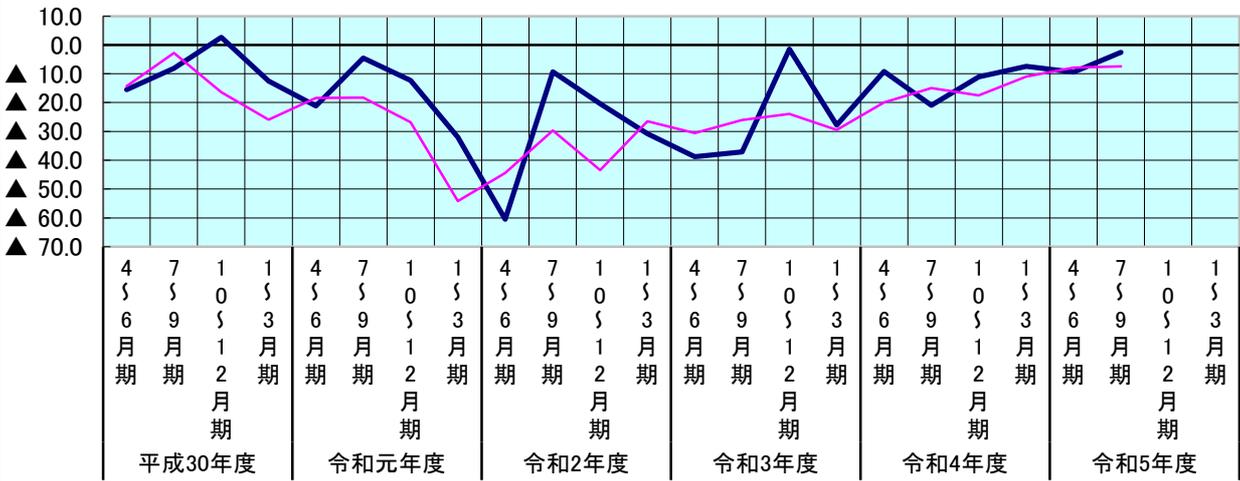
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



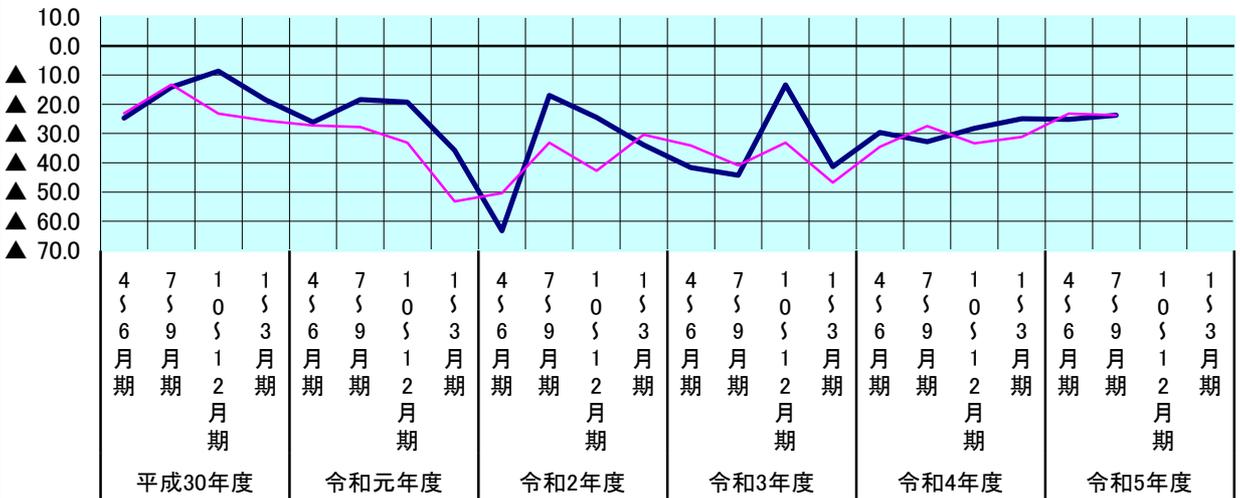
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	7月～9月 実 績			
	10～12月 見 通 し			
卸 売 業	7月～9月 実 績			
	10～12月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	7月～9月 実 績			
	10～12月 見 通 し			
建 設 業	7月～9月 実 績			
	10～12月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	7月～9月 実 績			
	10～12月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	7月～9月 実 績			
	10～12月 見 通 し			

景気天気図の説明					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い